

2. 講師及び司会者紹介

赤上 剛（あかがみ たけし）

1941 年栃木県茂木町生まれ。早稲田大学法学部卒。渡良瀬川研究会副代表論文「日清戦争前後の田中正造の行動と思想」（『救現』11 号所収）、「直訴論の再検討」「田中正造没後 100 年、3. 11 事件 3 年目の課題」（いずれも『田中正造と足尾鉾毒事件研究』14 号、16 号所収）ほか多数。近刊『田中正造とその周辺』（随想舎）『下野新聞』に「正造の言葉」を 4 月から 10 月末まで毎週連載。

朴 孟洙（パク メンス）

1955 年生まれ。韓国・円光大学校教授 学生福祉処長。北海道大学大学院文学研究科博士課程修了（文学博士）。1980 年代後半より東学および東学農民革命に関する研究を行いつつ、ハンサリム運動（生命・環境運動）の指導者として活動。著書『開闢の夢、東アジアをめざめさせる—東学農民革命と帝国日本』『東学農民戦争と日本』訳書『景福宮を占領せよ』ほか韓国語論文多数。

丁 貴連（チョン キリョン）

宇都宮大学国際学部教授。筑波大学大学院人文社会科学研究科文芸言語専攻修了（文学博士）。専門領域は比較文学比較文化・日本文学・韓国文学。近刊著書『媒介者としての国木田独歩—ヨーロッパ・日本・韓国』（翰林書房、2014 年）。翻訳書『韓国文学はどこから来たのか』（筒井真樹子との共訳、白帝社、2005 年）。論文「もう一つの小民史—国木田独歩と日清戦争」（『外国文学』61 号、2012 年）など。

高際 澄雄（たかぎわ すみお）

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター長／教授。専門領域イギリス文化・文学研究。主として、イギリス 18 世紀文学と文化を研究に従事。現在ヘンデルの歌劇と文学の関係を調査。「ロデリック・ランドムにおける奴隷貿易」（『イギリス 18 世紀文学研究』開拓社 1996）、「ボイスの第 2 セシリアオードにおける詩と音楽」（『イギリス 18 世紀文学研究』開拓社 2010）など。